



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

東

上場会社名 株式会社RYODEN 上場取引所 東  
 コード番号 8084 URL <https://www.ryoden.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 富澤 克行  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 岡村 幸三郎 (TEL) 03-5396-6111  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	153,844	△3.1	3,151	△9.7	3,519	△8.1	3,409	19.8
2025年3月期第3四半期	158,833	△19.3	3,488	△44.4	3,831	△39.2	2,846	△34.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,273百万円 ( △25.3%) 2025年3月期第3四半期 2,612百万円 ( △56.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	158.27	157.83	
2025年3月期第3四半期	129.92	129.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
				百万円	円 銭
2026年3月期第3四半期	147,996	89,974	60.7	4,168.56	
2025年3月期	141,995	89,213	62.7	4,141.24	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 89,862百万円 2025年3月期 89,086百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 53.00	円 銭 —	円 銭 53.00	円 銭 106.00
2026年3月期	—	68.00	—		
2026年3月期(予想)				68.00	136.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	215,000	△0.4	5,500	0.3	5,600	△6.8	5,000	6.4	232.10	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

### 会計方針の変更に関する注記

(注) 第1四半期連結会計期間の期首より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

## (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期3Q	21,612,037株	2025年3月期	21,612,037株
2026年3月期3Q	54,878株	2025年3月期	100,078株
2026年3月期3Q	21,542,126株	2025年3月期3Q	21,913,487株

## ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2026年2月中旬に当社Webサイトにて公開する予定です。

<https://ir.ryoden.co.jp/>

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(株主資本等関係)	11
3. 補足情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、各国の政策を巡る不確実性や地政学リスク、為替の変動などにより、引き続き不安定な状況が続きました。日本経済は、円安と物価上昇の継続はあるものの、雇用・所得環境の改善などによる、堅調な個人消費に支えられ、緩やかな回復基調を維持しました。

当社グループの取引に関する業界では、電子部品・半導体分野において、自動車向けパワー半導体やAI関連製品の需要は堅調に推移しましたが、産業機器用途では、在庫調整局面や中国市場における不安定な状況が継続し低調に推移し市況の回復が待たれる状況となりました。FA分野では、自動化などへの需要は増加しましたが、大手装置メーカー向け在庫調整による影響が残りました。冷熱ビル分野では、資材の高騰や技術者不足などの影響はあったものの、省エネや環境対策設備などが堅調に推移し概ね好調に推移しました。

当社グループにおいては全セグメントを通じて、計画的な人財投資やその他戦略的投資を続けております。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、関係会社株式の売却益等を計上した影響で、前年同期比で増益となりました。

このような状況の下、当社グループは、新たな中長期経営計画「ONE RYODEN Growth 2029 | 2034」をスタートし、企業活動を通じて全てのステークホルダーと共に新たな価値を創出し続けることで「社会的価値」と「経済的価値」を両立させ、持続的な企業価値向上を実現すべく計画に取り組んでおります。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,538億44百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益31億51百万円(前年同期比9.7%減)、経常利益35億19百万円(前年同期比8.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益34億9百万円(前年同期比19.8%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

		前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率 (%)
FAシステム	売上高	35,303	36,120	2.3
	営業利益	945	645	△31.8
冷熱ビルシステム	売上高	23,415	26,508	13.2
	営業利益	1,135	1,343	18.3
X-Tech (クロステック)	売上高	6,578	6,034	△8.3
	営業利益または 損失(△)	△50	84	-
エレクトロニクス	売上高	93,576	85,218	△8.9
	営業利益	2,130	2,257	6.0

(注) 事業別の連結売上高は百万円未満を切り捨てし、合計値はすべてを集計ののち、百万円未満を切り捨てて表示しています。また事業間の内部取引の金額が含まれています。

#### ①FAシステム

FA分野では、盤メーカー向けの販売は堅調を維持し、北海道における代理店権の獲得などの事業領域拡大に取り組みましたが、エンドユーザー等の回復が遅れており、主要取扱品の販売は低調に推移しました。

その結果、FAシステムの売上高は361億20百万円、営業利益は6億45百万円となりました。

#### ②冷熱ビルシステム

冷熱分野では、職場環境改善や暑熱対策といった社会課題への対応需要を捉え、店舗・設備用エアコンなどの空調製品販売が伸長し、工場・倉庫、学校向けの施設物件が堅調に推移しました。

ビルシステム分野では、建設市場の不透明感もあり昇降機販売は低調に推移しましたが、年度末に向けた産業用蓄電池などのエネルギー関連分野の商談は増加しました。

その結果、冷熱ビルシステムの売上高は265億8百万円、営業利益は13億43百万円となりました。

## ③X-Tech

スマートアグリ分野では、植物工場野菜販売におけるトップシェアを維持しています。また、植物工場事業で培ってきた光合成を最適化する技術を用いた光合成生物に関する受託研究、コンサルティング、テストプラントの受注も堅調に推移しました。

ICT分野では、メモリーのコスト増と供給問題により、PCやサーバーなどのIT機器が影響を受けたものの、ビデオマネジメントシステム(FlaRevo)やRFIDなどの高付加価値製品の販売が堅調に推移しました。

ヘルスケア分野では、電子カルテ向け関連機器の販売は伸長しましたが、医療機関の設備投資減速は継続しており、低調に推移しました。

X-Tech全体としては、好調なスマートアグリ分野が牽引したことで増益となり、黒字化を継続しています。

以上により、X-Techの売上高は60億34百万円、営業利益は84百万円となりました。

## ④エレクトロニクス

国内では、車載市場は全般的に堅調に推移し、データセンター向けは好調を維持しているものの、産業機器市場では、顧客の中国向け販売落込みからの回復も弱く在庫調整が長期化、民生関連市場も全般的な低迷が継続していることで、全体としては低調に推移しました。

海外では、民生市場はエアコン・OA機器向けが堅調に推移しましたが、産業機器関連・車載関連向けは中国を中心として、いずれも低調に推移しました。

その結果、エレクトロニクスの売上高は852億18百万円、営業利益は22億57百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、受取手形、売掛金及び契約資産が26億90百万円、電子記録債権が13百万円減少しましたが、現金及び預金が48億67百万円、商品及び製品が15百万円増加したこと等により、資産合計は前連結会計年度末比60億円増加し、1,479億96百万円となりました。

負債の部は、短期借入金が1億77百万円、長期借入金が1億55百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が34億34百万円、電子記録債務が8億67百万円、未払法人税等が7億3百万円増加したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比52億40百万円増加し、580億22百万円となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益を34億9百万円計上した一方、配当金26億6百万円の支払による利益剰余金の減少、為替換算調整勘定が6億42百万円減少等により、純資産合計は前連結会計年度末比7億60百万円増加し、899億74百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末比2.0ポイント減少し、60.7%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当社グループは、経営成績の向上と財政状態の安定を図り、資金需要に応じた一定の手許流動性を維持しながら、健全かつ効率的な財務活動を行っております。

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比48億67百万円増加し、381億73百万円の残高となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、95億8百万円（前年同期比59億32百万円支出増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益50億96百万円の計上と、売上債権の減少、並びに棚卸資産・仕入債務の増加によるネット資金の増加71億1百万円、法人税等の支払10億72百万円によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、13億72百万円（前年同期比13億53百万円支出増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4億41百万円、無形固定資産の取得による支出23億52百万円、関係会社株式の売却による収入13億26百万円、投資有価証券の売却による収入7億82百万円、投資有価証券の取得による支出4億14百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、28億64百万円（前年同期比2億86百万円支出増）となりました。これは主に、配当金の支払25億61百万円、短期借入金の返済1億46百万円、長期借入金の返済1億55百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年10月27日に公表いたしました数値から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)	(単位：百万円)
<b>資産の部</b>			
流動資産			
現金及び預金	33,311	38,178	
受取手形、売掛金及び契約資産	44,840	42,150	
電子記録債権	13,806	13,793	
有価証券	—	131	
商品及び製品	27,296	27,311	
その他	6,563	7,826	
貸倒引当金	△16	△15	
流動資産合計	125,802	129,377	
固定資産			
有形固定資産	5,197	5,751	
無形固定資産	1,979	4,032	
投資その他の資産			
その他	9,282	9,085	
貸倒引当金	△268	△252	
投資その他の資産合計	9,013	8,833	
固定資産合計	16,190	18,617	
繰延資産	3	1	
資産合計	141,995	147,996	
<b>負債の部</b>			
流動負債			
支払手形及び買掛金	25,722	29,157	
電子記録債務	13,911	14,779	
短期借入金	1,148	971	
未払法人税等	276	979	
その他	8,236	8,702	
流動負債合計	49,296	54,589	
固定負債			
長期借入金	1,468	1,312	
退職給付に係る負債	279	266	
その他	1,737	1,853	
固定負債合計	3,486	3,432	
負債合計	52,782	58,022	
<b>純資産の部</b>			
株主資本			
資本金	10,334	10,334	
資本剰余金	7,355	7,410	
利益剰余金	64,160	64,964	
自己株式	△128	△71	
株主資本合計	81,721	82,637	
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	2,282	2,803	
為替換算調整勘定	4,253	3,611	
退職給付に係る調整累計額	828	809	
その他の包括利益累計額合計	7,364	7,224	
新株予約権	116	96	
非支配株主持分	10	15	
純資産合計	89,213	89,974	
負債純資産合計	141,995	147,996	

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	158,833	153,844
売上原価	139,171	132,572
売上総利益	19,661	21,272
販売費及び一般管理費	16,173	18,120
営業利益	3,488	3,151
営業外収益		
受取利息	165	208
受取配当金	194	163
持分法による投資利益	60	50
受取補償金	70	—
その他	128	173
営業外収益合計	620	595
営業外費用		
支払利息	65	52
為替差損	180	126
その他	30	48
営業外費用合計	276	227
経常利益	3,831	3,519
特別利益		
投資有価証券売却益	393	605
関係会社株式売却益	—	1,036
特別利益合計	393	1,641
特別損失		
固定資産除却損	1	—
補助金返還損	—	16
本社移転費用	—	48
特別損失合計	1	64
税金等調整前四半期純利益	4,223	5,096
法人税等	1,372	1,682
四半期純利益	2,850	3,413
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,846	3,409

## (四半期連結包括利益計算書)

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,850	3,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△505	521
為替換算調整勘定	311	△642
退職給付に係る調整額	△44	△19
その他の包括利益合計	△238	△140
四半期包括利益	2,612	3,273
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,608	3,269
非支配株主に係る四半期包括利益	3	4

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,223	5,096
減価償却費	575	592
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△22	△1
受取利息及び受取配当金	△360	△372
支払利息	65	52
持分法による投資損益（△は益）	△60	△50
固定資産除却損	1	-
投資有価証券売却損益（△は益）	△393	△605
関係会社株式売却損益（△は益）	-	△1,036
補助金返還損	-	16
本社移転費用	-	48
売上債権の増減額（△は増加）	22,050	2,791
棚卸資産の増減額（△は増加）	5,953	△296
仕入債務の増減額（△は減少）	△13,530	4,606
未収入金の増減額（△は増加）	85	△1,506
その他	△1,205	341
小計	17,383	9,676
利息及び配当金の受取額	391	959
利息の支払額	△66	△55
法人税等の支払額	△2,266	△1,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,441	9,508
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△206	△441
無形固定資産の取得による支出	△578	△2,352
投資有価証券の取得による支出	△43	△414
投資有価証券の売却による収入	504	782
定期預金の純増減額（△は増加）	861	-
関係会社株式の売却による収入	-	1,326
短期貸付金の増減額（△は増加）	-	△92
敷金及び保証金の差入による支出	△482	-
補助金の返還額	-	△16
その他	△74	△165
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19	△1,372
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	76	△146
長期借入金の返済による支出	△217	△155
自己株式の取得による支出	△1	△0
自己株式の処分による収入	0	0
配当金の支払額	△2,434	△2,561
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,577	△2,864
現金及び現金同等物に係る換算差額	118	△403
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	12,962	4,867
現金及び現金同等物の期首残高	18,422	33,305
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,385	38,173

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月24日開催の取締役会決議に基づき取締役及び対象使用人に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式34,000株の処分を行いました。また、ストック・オプションの権利行使に伴う自己株式11,500株の処分を行い、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が58百万円減少し、資本剰余金は自己株式処分差益55百万円を計上したことにより増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金が74億10百万円、自己株式が71百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、従来、定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間の期首から定額法に変更しております。

当連結会計年度より開始する新中長期経営計画「ONE RYODEN Growth 2029 | 2034」において、有形固定資産を使用したサブスクリプションビジネスなどの長期安定的に収入を得る事業の拡大を加速させる方針並びに戦略を定めたこと及び2025年12月に本社を移転することを契機に、有形固定資産の減価償却方法を再検討いたしました。

この結果、今後の投資に対する効果が償却期間にわたり均等に生じると見込まれること等から、定額法を採用することが費用配分の観点から合理的であると判断したことによるものであります。

この変更により、従来の方法によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が39百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は同額増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA システム	冷熱ビル システム	X-Tech	エレクト ロニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	35,303	23,415	6,578	93,536	158,833	—	158,833
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	40	40	△40	—
計	35,303	23,415	6,578	93,576	158,873	△40	158,833
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	945	1,135	△50	2,130	4,160	△671	3,488

(注) セグメント利益又は損失の調整額△671百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△661百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発費用であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA システム	冷熱ビル システム	X-Tech	エレクト ロニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,118	26,508	6,034	85,183	153,844	—	153,844
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	—	34	36	△36	—
計	36,120	26,508	6,034	85,218	153,881	△36	153,844
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	645	1,343	84	2,257	4,330	△1,178	3,151

(注) セグメント利益又は損失の調整額△1,178百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△1,179百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発費用であります。

## (株主資本等関係)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年5月10日 取締役会	普通株式	1,311	60	2024年3月31日	2024年6月4日	利益剰余金
2024年10月31日 取締役会	普通株式	1,162	53	2024年9月30日	2024年12月4日	利益剰余金

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年5月15日 取締役会	普通株式	1,140	53	2025年3月31日	2025年6月3日	利益剰余金
2025年10月31日 取締役会	普通株式	1,465	68	2025年9月30日	2025年12月4日	利益剰余金

## 3. 補足情報

ご参考までに、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の地域別売上高は、以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

【地域別売上高】							(単位：百万円)
日本	海外					連結合計	
	アジア		北米	欧州	海外計		
	中国	その他					
(79.1%) 125,640	(11.2%) 17,758	(6.5%) 10,278	(2.4%) 3,817	(0.8%) 1,338	(20.9%) 33,192	(100.0%) 158,833	

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。  
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比です。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

【地域別売上高】							(単位：百万円)
日本	海外					連結合計	
	アジア		北米	欧州	海外計		
	中国	その他					
(76.8%) 118,222	(12.7%) 19,484	(7.5%) 11,534	(2.4%) 3,634	(0.6%) 968	(23.2%) 35,622	(100.0%) 153,844	

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。  
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比です。